新時代を拓く

vol.2

2019.10

島根県議会議員

坪内涼二 県議会レポート

ごあいさつ

９月定例県議会では、今後５か年の県政運営の指針となる「島根創生計画」の素案や中期的な財政の見通しや今後の財政運営の方針である「中期財政運営方針」案が示され質問戦や特別委員会においても活発な議論が展開されました。

島根県の財政見通しでは、借金返済用の減債基金は2022年度末に枯渇し、新たな財政需要や地方交付税の減少などを見込んだ場合、2020年度以降、毎年度20億円程度の収支不足が見込まれるという、大変厳しいものとなっています。このため、スクラップアンドビルドの徹底や行政の効率化・最適化の推進、県有財産の売却による財源確保などにより、島根創生を進めるための事業費確保と健全な財政運営の両立に取り組む方針です。

重点見直し対象事業には、石州瓦産業への支援事業など、江津市にも関係する事業が含まれていますが、県民や地域経済などへの影響を考慮した対応が必要です。見直し作業のなかで、地域の声をしっかりと届ける役割を担って参ります。

島根県議会議員　　坪内　涼二

江津JC創立45周年記念式典

がん検診街頭キャンペーン

山陰道建設促進総決起大会

一般質問

県議会ホームページにて録画中継をご覧になれます。

1. 石見地域の振興・人口減少対策について

坪内　島根県東部と西部の格差の現状はどうか。

政策企画局長　いずれも（下表）、西部は東部に比べて厳しい状況。

島根県東西の格差の現状	東部	西部
人口減少率（昭和30年比較）	８％	49%
高齢化率	31%	39%
製造品出荷額に占める割合	77%	22%
観光入込客数に占める割合	81%	15%
山陰道の供用率	89%	52%
医師の充足率	81%	77%

坪内　知事自ら現場を訪問し、地域住民と意見交換を行う「石見の日」の取り組みを通して寄せられた意見を、施策にどう反映させていくのか。

知事　山陰道の早期開通、萩・石見空港の２便化維持、浜田港の流通機能の強化、浜田道や江津道路の４車線化の推進など、人と物の流れをつくる交通ネットワークの基盤整備を進める。同時に付加価値が高く良質な野菜・果樹・水産物などの販路拡大、石見神楽を生かした観光振興、温泉や食材を軸とした美肌観光の推進、江津工業団地などへの企業誘致といった幅広い施策を市町村や経済界と連携しながら力強く取り組んでいきたい。

坪内　これ以上、圏域間の人口格差が拡大しないよう圏域ごとに目標人口の設定が必要と考えるが、所見を伺う。

政策企画局長　県内の他圏域との人口移動をどう見るかという県全体では考慮していない要件もあり、圏域ごとの目標人口の設定はしないが、特に長年続く人口減少に苦しみ厳しい状況になっているところには手厚い措置を講じるなど、圏域間の格差などに十分配慮を行いながら、人口減少対策を進める。

2. ドライブレコーダーの普及

坪内　公用車のドライブレコーダー搭載状況は。

総務部長　知事部局等においては、今年度から来年度にかけて公用車718台全てに搭載を予定している。

警察本部長　県警察が管理する四輪自動車580台のうち、搭載されている車両は292台であり、今後、パトカーをはじめ緊急走行を行う車両を優先的により多くの車両に整備に努める。

坪内　記録映像提供に関する協定締結を一層進めていくべき。

警察本部長　協定が、事件事故の解決に資する情報を得られる可能性が高まり、県民の安全・安心の確保につながることから、今後も幅広い分野の方々に協力いただけるよう働きかけていく。

坪内　鳥取県がドライブレコーダーの設置費用の助成制度を導入したが、助成制度創設の考えはないか。

地域振興部長　制度創設がどういった課題解決を目的とするのか、他の施策・事業に優先して行うべきかなど、総合的かつ慎重に検討していく必要がある。

9月議会では、こんなことが決まりました！

可決・採択

- **一般会計補正予算**（第2号）※下記参照
- **島根県核燃料税条例**
  課税期間が終了することから、新たに5年間の条例を新設
- **島根県産業廃棄物減量税条例**
  課税期間が終了することから、新たに5年間の条例を新設
- **警察に関する手数料条例**（一部改正）
  県が徴収する手数料について所要の改正
- **地方の社会資本整備の促進を求める意見書**
  必要な予算確保など、
  地方の社会資本整備促進を国に求めるもの
- **過疎地域自立促進特別措置法の失効に伴う新たな法律の制定を求める意見書**

不採択

- **島根県議会において平成25年6月26日付で決議された“日本軍「慰安婦」問題への誠実な対応を求める意見書”の撤回決議を求める請願**
  6月議会同様に平成25年決議の意見書の撤回決議を求める請願が提出されましたが、6月議会同様不採択となりました。

総務委員会県内調査

関係人口の拡大をテーマに以下の取り組みを調査しました。

- 合同会社宮内舎（雲南市大東町）
  “農”を基盤とする仕事づくりを通し、耕作放棄地の減少や農家の所得向上に貢献。関係性について、必ずしも人間だけではなく、自然や動植物、歴史・文化なども含めて関係性を築くとの言葉が印象に残りました。

- 雲南市役所
  ふるさと納税による応援資金と金融機関融資を組み合わせた資金調達支援により、若者チャレンジを地域全体で支えています。また、小中高でのキャリア教育、大学生の実践型インターンを通して、チャレンジの連鎖による持続可能なまちづくりを推進しています。

- 里山照らし隊（雲南市吉田町）
  “うやま米”の産地であり、自然環境と田園風景を守るため、地域外からの参加者を受入れ草刈り作業を実施。単なるボランティアイベントを越えて、農業やアウトドア体験を兼ねた自然と環境を考えるプロジェクトに成長しています。地域内外の人が協力し、課題の解決に取り組んでいます。

- 邑南町（羽須美地区・宇都井地区）
  三江線廃線後の跡地を活かした観光事業を立案。都市部に関係人口受入の拠点を整備し、“INAKAイルミ”の継続に加え、トロッコ列車の運行に取り組んでいます。

補正予算

9月県議会には、一般会計総額95億円の補正予算案が提案されました。公共事業は、国の補助金・交付金の内示に伴う補正約25億円を計上。

首都圏における新たな情報発信・活動拠点整備 1億900万円 にほんばし島根館に替わる新たな情報発信・活動拠点を整備	**漁業収益性向上操業支援事業** 1349万円 沖合底引き網漁業の収益性向上と資源管理強化のためのシステム整備
“美肌”観光推進事業 1490万円 美肌をキーワードにした観光振興	**県外進学者の県内就職支援事業** 213万円 県外事務所に就職支援員を配置し、Uターン就職の働きかけを強化
農林大学校再編拡充事業 2億2024万円 担い手確保・育成のため、教育内容充実及び定員増加に伴う施設整備	**外国人患者に対する医療提供体制整備事業** 1210万円 音声通訳のタブレット整備など、外国人患者の医療提供体制を強化

県政報告会のご案内

- １０月２５日（金）１８時～
  渡津地域コミュニティ交流センター
- １０月２９日（火）１８時～
  跡市地域コミュニティ交流センター
- １０月３０日（水）１８時～
  谷住郷多目的集会所
- １１月　１日（金）１８時～
  都治地域コミュニティ交流センター
- １１月　８日（金）１８時～
  嘉久志地域コミュニティ交流センター

あとがき

５月に石見神楽が「神々や鬼たちが躍動する神話の世界～石見地域で伝承される神楽～」として、日本遺産に認定されました。これまで伝統芸能の継承・発展にご尽力をいただいた関係者の皆様に、心から敬意と感謝を表します。

９月には、英国公演が決まった大都神楽団の恵木勇也団長とともに県庁に丸山達也知事を訪ね、恵木団長より海外公演への意気込みが述べられました。丸山知事からも激励いただき、国際交流基金が主催する「日本文化季間」の関連イベントに参加、大英図書館などロンドン中心部で「大蛇」などの演目を披露しました。

一般質問への答弁でも分かるように、石見地域の観光は厳しい状況です。知事答弁でも石見神楽を生かした観光振興に触れています。石見神楽の日本遺産登録や海外公演をきっかけに石見地域の観光振興がさらに図られていくことを期待します。

島根県議会議員　坪内涼二事務所
〒695-0011　島根県江津市江津町1520-61
TEL:0855-52-7511／FAX:0855-52-7510

活動報告など情報発信中！

ホームページ　ＬＩＮＥ　facebook